

いほか、普通科の着実な上昇が注目される。

女子については、すべての学科において全面的に下降し、前年比で三・一パーセントの著しい落ち込みとなっている。

職業学科全体の就職率は八〇・九パーセントで前年度(八十一・七パーセント)より〇・八パーセント低下したが、なかでも家庭科における低落(六・四パーセント)が著しい。

就職者の実数では、普通科の五千六百十五人が最も多く、就職者全体の四十三・九パーセントを占め、前年度(四十三・五パーセント)よりさらに上まわった。

(二) 産業別就業状況(表6参照)

製造業四千九百四十一人(三十七・二パーセント)、卸、小売業三千三百四十七人(二十五・二パーセント)、サービス業千八百五十二人(十三・一パーセント)が例年に引き続き上位を占め、全体の七十六・三パーセントで四分の三を超え、前年度(七十四・二パーセント)より更に四・一パーセントの大きな伸びを示した。これは、好況に支えられた製造部門において、前年比で五パーセントの著しい増加をみせたことが大きく寄与したものと見える。

ちなみに、就業構造によってこれをみると、農林、水産業などの一次産業

表1 公立高等学校卒業者の進学状況(実数)

区 分	卒業者数	進 学 者 数						各種学校等 入学者数 (予備校を除く)	次年度進学 希望者数	
		計	大 学			短期大学	その他			
			国 立	公 立	私 立					
普 通 科	男	6,873	2,204	568	26	1,553	57	730	1,821	
	女	8,498	2,729	224	11	717	1,775	2	1,603	438
	計	15,371	4,933	792	37	2,270	1,832	2	2,333	2,259
農 業 科 水 産 科	男	1,437	57	2		20	17	18	192	1
	女	339	13	1			9	3	39	
	計	1,776	70	3		20	26	21	231	1
工 業 科	男	2,832	176	8		140	28		203	39
	女	210	14			1	13		12	1
	計	3,042	190	8		141	41		215	40
商 業 科	男	1,293	158	10		125	22	1	101	59
	女	1,453	83			6	74	3	125	8
	計	2,746	241	10		131	96	4	226	67
家 庭 科	女	1,284	116			5	110	1	191	1
理 数 科	男	154	66	24	2	39	1		6	79
	女	6	5			5				1
	計	160	71	24	2	44	1		6	80
全 日 制 合 計	男	12,589	2,661	612	28	1,877	125	19	1,232	1,999
	女	11,790	2,960	225	11	734	1,981	9	1,970	449
	計	24,379	5,621	837	39	2,611	2,106	28	3,202	2,448

全 日 制 男 女 別 進 学 率

% () 内は前年度

種 別 男 女 別	大 学			短 期 大 学	計	各 種 学 校 等 (予備校を除く)	次 年 度 進 学 希 望 者
	国 立	公 立	私 立				
男	4.9 (5.4)	0.2 (0.4)	14.9(14.6)	1.0(1.2)	21.1(21.7)	9.8 (9.4)	15.9 (15.7)
女	1.9 (1.6)	0.1 (0.1)	6.2(6.9)	16.8(16.8)	25.1(25.4)	16.7 (17.4)	3.8 (3.9)
計	3.4 (3.5)	0.2 (0.2)	10.7(10.9)	8.6(8.7)	23.1(23.5)	13.1 (13.3)	10.0 (10.0)